

ただ「阿難」とあるのを他人ごとでなく「自分の名」に置きかえて味わい  
ましよう。

さて数あるお経（仏説一四二〇部）の中から、浄土真宗では、左記の「浄  
土三部経」を選んで、お救いの依りどころとしています。

仏説無量寿経 上下二卷（略して大経）

仏説観無量寿経（略して観経）

仏説阿弥陀経（略して小経）

この三部の中で、量的に最も少なく、しかもお浄土についての内容がよく  
まとめられていますので、ご法事などで一番よく読まれているのが『仏説阿弥  
陀経』です。

『阿弥陀経』は問いなくして、お弟子の舎利弗にお浄土について説かれて  
います。

その内容は、大別すると次のとおりです。